

一液反応硬化形合成樹脂エマルジョンペイント

スズカFEP-Ⅱ艶有り

独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)指定資材

【特長】

- ・一液反応硬化形エマルジョンを使用していますので付着性が良好です。
- ・光沢，仕上り性に優れます。
- ・はけ，ローラーでの塗装作業性が良好です。
- ・優れた防かび性により，カビの発生を抑制します。
- ・UR都市機構のFEP-Ⅱ艶有り品質基準に合格する品質です。
- ・重金属などの有害物質は一切含まない水性塗料ですので安全であり室内の塗替えに最適です。

【塗料性状】

容 量		1 6 k g , 3 k g
色		白，原色及び調色品
光 沢		艶有り
密 度 (g/cm ³)		最新のSDSをご参照ください。
引 火 点		—
発 火 点		—
消 防 法 表 示	化学品名	—
	危険物区分	—
	危険等級	—
有機溶剤区分		—
有害物表示		—



【塗装基準】

塗装方法：ローラー及びはけによる2回塗り

混 合：使用前に希釈のうえ，十分に攪拌する

乾燥時間

	5℃	20℃	30℃
指 触 乾 燥	50分	20分	15分
重ね塗り乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

注) この数値は塗付量，通風，湿度及び素地の状態によって異なります。

用途：室内の回り縁など木部，ボード面及びモルタルなどの塗替え
(UR都市機構の仕様書による)

【塗装仕様】室内木部面、ボード面及びモルタル面等

●W-FEP-II-D①、FEP-II-B、FEP-II-D①

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗布量 (Kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
下地調整	木部：UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 3. 13表に従う。(4種ケレン) ボード面及びモルタル面： UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 4. 10表に従う。 (FEP-II-Bの場合は3種ケレン、FEP-II-D①は4種ケレン)					
素地押え ※1)	FEP専用シーラー (ヤニガード) 清 水	100 0～3	0.10～0.13	1	4時間以上	はけ塗り ローラー塗り
上塗り (1回目)	スズカFEP-II艶有り 清 水	100 0～10	0.11～0.15	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り
上塗り (2回目)	スズカFEP-II艶有り 清 水	100 0～10	0.11～0.15	1	—	はけ塗り ローラー塗り

※1) けい酸カルシウム板面の場合、素地押さえに使用する塗料(二液性エポキシシーラー)は
下記の塗料をご使用ください。

ワイド浸透シーラーEPO 希釈剤：塗料用シンナー

希釈率：無希釈

塗付量：0.15～0.45kg/m²

塗回数：1～2回

間隔時間：工程時間4h～1ヵ月以内

塗装方法：はけ、ローラー

●W-FEP-II-D②、FEP-II-D②

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗布量 (Kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
下地調整	木部：UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 3. 13表に従う。(4種ケレン) ボード面及びモルタル面： UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 4. 10表に従う。(4種ケレン)					
上塗り (1回目)	スズカFEP-II艶有り 清 水	100 0～10	0.11～0.15	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り
上塗り (2回目)	スズカFEP-II艶有り 清 水	100 0～10	0.11～0.15	1	—	はけ塗り ローラー塗り

●W-FEP-II-E、FEP-II-E

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗布量 (Kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
下地調整	木部：UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 3. 13表に従う。(4種ケレン) ボード面及びモルタル面： UR都市機構保全工事共通仕様書 8. 4. 10表に従う。(4種ケレン)					
上塗り	スズカFEP-II艶有り 清 水	100 0～10	0.11～0.15	1	—	はけ塗り ローラー塗り

【塗装上の注意事項】

- ・使用前に塗料を十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- ・たれ、かすれ、塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- ・素地は十分に乾燥させてください。（含水率10%以下、pH10以下）
- ・素地の巣穴、不陸、目違いなどは、あらかじめ合成樹脂エマルジョンパテ（FEP-Ⅱパテ）などで補修し、研磨紙ざり（＃120～240）を行ってください。
- ・FEP-Ⅱパテの最大塗り厚は0.5mmとする。
- ・スレート等の素地の吸い込みの多い場合又はアルカリ度の高い場合は、上塗りに先立ちFEP専用シーラーを用いる。
- ・けい酸カルシウム板等は素地の吸い込みが多く粉化性が強いいため、特記なき限り上塗りに先立ち専用の二液性エポキシシーラー等を用いる。
- ・汚染が油脂系又は脆弱面であるため合成樹脂系溶剤系シーラーを使用する場合は、監督員と協議した上で使用し、中毒防止の換気等を十分に行ってください。
- ・マステック面については、旧塗膜の活膜部に対して、十分に研磨紙ざりを施す。
- ・旧塗膜が薄付け仕上塗材等の粗面の場合、シーラーの塗付量を0.20～0.30Kg/m²とする。
- ・気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・ローラー塗りとはけ塗りでは仕上り感が異なりますので注意してください。
- ・補修塗りは希釈を多めに目立たないように塗装してください。
- ・シーリング面に塗装する場合は予めラフトン逆プライマーを塗装してください。

【取扱い上の注意事項】

- ・取扱い中は、皮膚に触れないようにし、下記の保護具を着用してください。
〔防塵マスク・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど〕
- ・容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理してください。
- ・換気は十分に行ってください。
- ・作業衣などに付着した場合には、素早くその汚れをよく落としてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- ・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記の場所での保管は避けてください。
〔雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所〕
- ・捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ・詳しい内容が必要な場合は製品安全データシート（SDS）をお読みください。

